



～ 新規事業 「生活介護事業 えんばわ」 よろしくお願 います ～

理事長 奥山葉月

この度、あたらしい事業をはじめることとなりました。数年間、悩んだ末、障害種別を問わず、障害の重い人が利用でき、活動内容が自由に行えることから「生活介護」を選択しました。

立川で暮らし続けたい、親亡きあとも、いまの暮らしを続けたいとの声に動かされ、障害のある私たちに必要なことはなんだろう、自立生活センターだから行いうこと、自立生活センターとしてこだわって行いうことはなんだろうと考えていった結果でもありました。

事業所名をエンパワメント略して「えんばわ」とし、本来、誰もがもっている生きる力を仲間とともに引き出していく場を自指していきます。

えんばわのスローガンは、以下としています。

地域や仲間とつながる場：仲間、地域とのつながりで生活を豊かなものにしていこう。

体験、経験する場：「やってみたかったこと」「あきらめていたこと」を仲間と一緒に挑戦しよう。

自分らしく居られる場：どんな障害、どんなに重い障害、どんな生きづらさを抱えている人も、ともにいることを大切にしよう。

エンパワメントする場：自分の力を信じよう。仲間の方を信じよう。

* 詳細は別紙ちらしをご覧ください。

当法人では、設立依頼、通所事業を行なった経験がなく、はじめてのことばかりで、戸惑う事ばかりですが、職員に支えられ、地域の関係機関にご協力いただいたの開所となりました。この場を借りて、心よりお礼を申し上げます。

えんばわが、利用される方、職員とともにエンパワメントされ、少しずつ、ゆっくりと成長していけるよう行っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願 います。

福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》 2019年度上半期事業報告

○相談支援の傾向

上半期の相談支援の傾向として、これまで家族と一緒に暮らし、日常生活は家族支援をしてもらっていたが、その家族が亡くなり親戚の方からお問い合わせをいただくケースが複数ありました。主に障害基礎年金申請サポートが多く「病歴」という書類記入を中心にサポートしました。

例年同様に金銭管理や健康管理などの相談も多く寄せられ、以前から関わりのある方は徐々にご自身でお金を使いすぎないよう気を付けている傾向がみられています。健康面では声掛けや通院同行などの支援を行い、医療機関とも連携をとっています。また、家族間の人間関係について悩みを持つ方も多く、ピア・カウンセリングの手法を用いて、本人が落ち着いて人間関係を築いていけるようお話を聞いています。引き続き、相談支援に取り組んでいきます。

○自立支援協議会・相談支援専門部会

昨年から相談窓口ガイドブックを作成しており、内容や配布先などについて検討してきました。また、放課後デイサービス連絡会や特定指定相談事業所連絡会、居宅介護派遣事業所連絡会など立川市にある各連絡会へ参加し、相談支援専門部会として今後の連携の取り方についても検討しています。

○2019年度 立川市障害者週間イベントのお知らせ

12月2日(月)～8日(日)の期間、障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会・経済・文化・その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としたイベントを開催します。今年度のテーマは「ひろがる輪 つながる輪 五輪へはばたけ立川の輪」です。

実行委員会をはじめ、様々な方達と一緒に企画・準備を以下の内容で進めております。是非、ご来場ください。お待ちしております。

■パラスポーツ「ポッチャ」体験&未来のパラアスリートによるトークショー

日時、場所：12月8日(日) 13時～16時30分、立川市役所 101会議室

■展示会 市内小学4年生の絵、市内福祉団体・事業所パネル、スポーツ用車いす体験、幻聴・幻覚体験、パラスポーツパネル、ピア・カウンセラーによる相談 など

日時、場所：12月2日(月)～7日(土) 10時～16時、立川市役所 多目的プラザ

■立川キャラバン隊「ひこうき雲」発表会

日時、場所：12月4日(水) 10時30分～12時、立川市役所 101会議室

■働くこと全般、労働関連の法律、年金相談 など 社労士相談窓口

日時、場所：12月5日(木) 13時～16時、立川市役所内

※事前申し込みになります。詳細は11月頃から配布される立川市障害者週間のちらしをご覧ください。

■立川市内福祉作業所による物品販売会

日時、場所：12月6日(金) 11時～12時、立川市役所 多目的プラザ など (つるぞの まこと)

立川市障害者就労支援センター はたらこ ～ 上半期報告 ～

登録者状況 (2019年8月30日)	
① 人数	209名
② 性別	男性 150名 女性 59名
③ 年齢	10代 15名 20代 87名
	40代 40名 50代 21名 60代 1名
④ 障害	知的障害 162名 身体障害 12名
	精神障害 35名 手帳なし 0名
⑤ 状況	一般就労中 188名
	就職準備等 21名 (福祉施設通所含む)

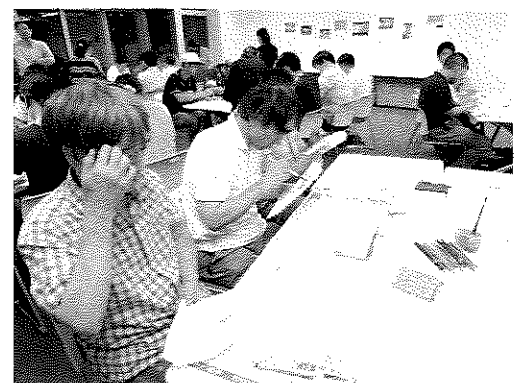
新たに利用登録された方は 17名(知的障害13名、精神障害1名、身体障害2名、知的障害と身体障害の重複の方1名)でした。そのうち発達障害の方は1名でした。利用経路としては、本人や家族からご相談を頂いた方が2名でした。また、特別支援学校高等部新卒者が12名、職業訓練校やハローワークから3名のご紹介がありました。また、就職は15件でした。内訳は、事務補助が3件、高齢者施設などでの清掃業務が3件、スーパーや衣料品などの小売店での補助業務が4件、物流関係の軽作業が3件、製造業での補助業務が2件でした。特例子会社への就職は3件でした。

離職は7件ありました。主な離職理由は体調不良や転職でした。勤続10年～15年の方の離職が半数を占めました。最近では、安定して働いていても、転職して新たな挑戦をされる方も珍しくありません。安心して長く働いて頂きたいという支援機関としての思いがある一方で、新たな挑戦をしたいというご本人のお気持ちも大切に考えたいと思っております。新規学卒の方が、学校の紹介で就職した会社を辞めて、自分の覚悟と決断をもって転職を考えたり、長年働いてきた方が、新しい仕事や会社で自分の力を試したいといったお気持ちになることがあります。また、加齢によるご自身の体調の変化やご家庭や生活の変化を踏まえて転職したいとお考えになるケースもあります。軽はずみに離職を勧めることはありませんが、こうした「転職」はご本人の人生において非常に重要と考えます。信頼して雇入れて下さっている事業所様へ感謝をお伝えしつつ、ご本人に訪れた「転職」について、ご説明をさせて頂いております。幸い、事業所様は前向きに捉えて下さっています。

準備訓練プログラムでは、高齢者施設清掃実習に9名(知的障害6名、精神・発達障害3名)が参加しました。市役所庁内実習には8名(知的障害6名、発達障害2名)が参加しました。

利用者同士との交流プログラムとして、知的障害の方を対象とした「夕食会」を木曜の夜に開催しています。17回行い、延べ497人が参加されました(1回平均参加人数29人)。同じく知的障害の方を対象としたイベントとして「お楽しみ会」があります。7月には創作活動として、「オリジナル扇子づくり」をして楽しみました。また、精神障害や発達障害の方を対象とした「茶話会」では、生活支援センターのピアスタッフをお招きして、就業生活の安定に必要な制度の活用や上手に支援を受け自分らしく生活することの大切さを学びました。

はたらこでは、新しいスタッフが何名か加わりました。就労支援の経験が少ないスタッフですが、今後一生懸命ご支援をさせて頂く中で、育てていきたいと考えております。ご利用者、関係者の方々には、ぜひご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。(井上 貴央)

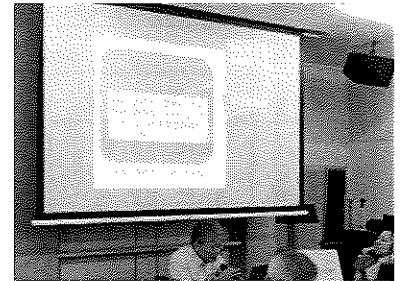


オリジナルの扇子づくり

じりつせいかつぶ ねんどかみはんき じぎょうほうこく
自立生活部 — 2019年度上半期 事業報告 —

■ 協力員スキルアップ研修「バリアフリー法の理解とまちづくりへの活かし方」(7月26日)

今年度の研修では、立川をよりみんなが住みよいまちに変えていくために、具体的にどのように活動をしたら良いのか、障害当事者の協力員をはじめ、バリアフリーに関する活動に興味を持って頂いている皆さんとともに考えていきました。



講師として、ご自身も車いすユーザーであり建築士、また昨年度まで大学教授も務められ、長年公私に渡り障害者の移動権保障の活動に心血を注いでいらっしゃる川内美彦氏をお招きしました。

前半はバリアフリー法の法的枠組みと、その実効性の有無を説明して頂きました。その中で①生活に密着したほとんどの建物は法律の枠外になる。②対象の建物のほとんどは、法的整備義務がなく、建築士の気持ち次第である。③来年のオリパラに向けた法改正も実効性が薄く、PRの材料程度である。という厳しい現実を、改めて理解することができました。

後半は各参加者の体験をもとに、グループワークを行いました。まちの中で困った事、改善に向けて動いた事など、今後私たちが自身がアクションを起こす際の方にしていけるよう共有を行いました。

最後に、グループで発表した内容について川内氏よりコメントを頂きました。中には、多目的トイレの使用について、障害者自身が他者を排除するような思想は逆差別であり、自分たちが否定してきた事を行う事につながってしまう、というメッセージもありました。今後も私たちがまちづくりのために出来ることは「障害者が移動することは権利である。当たり前である。」ことを強く言い続けることだと確信しました。今回の研修を踏まえ、協力員の皆さん、また多くの皆さんと共に、立川をより住みよいまちにできるよう動いていきたいと思えます。(鈴木 徳子)

■ 視覚障害者交流会 (7月20日)

今年度初の試みとして、CIL立川と関わりのある視覚障害当事者の方を対象に、交流会を開催しました。今回は7名の方にご参加頂き、交流を楽しみました。

会ではまず、参加者それぞれから簡単な自己紹介をして頂き、この会でみんなと話してみたい話題を挙げて頂きました。そしてその後、その話題について、参加者同士で会話をしながら交流しました。

話題には、仕事のこと、お出かけのこと、普段の生活の中で使っている便利グッズのこと、メイク等の身だしなみのことなど、様々なものが挙がり、それぞれについて情報交換をしました。盛り上がった話題のひとつは「爪切り」です。一般的な爪切りを使っている方、爪やすりで整えている方、皮膚科を受診して切ってもらっている方など、それぞれ工夫をされていました。

会の最後には、今回の感想や、今後に向けた意見などを出し合う時間を作りました。参加者からは、「ふだん視覚障害者同士で集まって話せるような場はあまりないので、今回参加できてよかった。ぜひまた開催してほしい。」といったご意見を多く頂き、同じ障害のある仲間同士で集う機会が求められていることを強く感じました。ぜひまた開催できればと思います。(櫻井 未来)

■ U 25企画「かき氷 & すいかパーティー」(9月1日)

25歳以下の障害のある方を対象としたU 25企画。今年の開催は夏ということで、みんなでかき氷やすいかを食べながら、夏を感じられるイベントを企画しました。子どもアイルビーの頃から参加して下さっている大学生の方にも、企画を考える段階から関わって頂きました。今回は参加者8名と、介助スタッフ

として10名のボランティアの方々にご協力頂き、活気あふれる賑やかなプログラムとなりました。

今回のプログラムの目的は、「外出」について話し合うこと。参加者の方々に、今までしてきた外出や、その時に工夫していること、困ったことを出し合ってもらいました。様々な形で外出を楽しんでいる話を聞くことができた一方で、共通していた困りごとは、現地までの移動やトイレに関することでした。そんな悩みに対して工夫を伝えてくれた参加者もあり、プログラム後のアンケートには「今後の外出の参考になった」という感想を多く頂きました。また、プログラムの最後には、U25企画で外出したいスポットを参加者に考えてもらいました。もしかしたら、次回の企画で希望した場所への外出が実現するかも…？障害のある仲間同士だからこそ共有できる悩みを話し合えて、外出に対してより前向きになれたプログラムとなりました。今後もこの企画をきっかけとして、様々な場所へ出かけて体験を積み重ねていってほしいと思います。(金井 春奈)



知的事業

■就労継続支援B型事業所「柏の葉」取材 (4月26日)

立川市内にある就労継続支援B型事業所「柏の葉」さんに、知的障害当事者の協力者の方2名と取材に行ってきました。こちらの事業所では、知的障害のある仲間が働いています。主な仕事は、ペットボトルキャップ回収・分別、食品加工、都市軸清掃、リサイクル、ポスティングです。その中でも特徴的なのが、食品加工の仕事です。近隣の農家の方から依頼を受けて、色々な果物を加工してジャムを作ったり、



野菜をスライスして乾燥させたりしています。取材に行った際、製作しているジャムを頂きました。また、職員の方とメンバーさんにインタビューを行ったので、その一部をご紹介します。

Q.年間行事について、くわしく教えてください。

A. 予定表を作っています。多摩動物公園や都庁への遠足、ミュージカル鑑賞、カレー作りやバーベキューなど、月に1回行っています。

■プログラム「みんなでお部屋を見に行こう！」(8月3日)

知的事業ではこれまで、ひとり暮らしをするために必要なお金や、手軽に作れる食事について考えたり実践するプログラムを行ってきました。

今回のプログラムのテーマは「お部屋を見に行こう！」。参加者が今住んでいる、家族と暮らす家やグループホームと、ひとり暮らしで住む部屋の大きさなどの違いを知ってもらうために、このテーマで開催することにしました。

前半は、参加者が希望する部屋の条件を考えてもらったり、部屋を借りる時の手続きや必要なお金について紙芝居を使って説明しました。後半は、不動産屋さんにご協力いただき、1Kと2DKの部屋の内見に行ってきました。参加者の皆さんは初めての内見ということで、少し緊張された様子でプログラムに臨んでいました。理想の部屋と実際の部屋の差をリアルに感じたことで、ひとり暮らしの住まいのイメージがさらに具体的にになり、ひとり暮らしに向けてまた1歩現実に近づくことができました。今後も自立に向けたプログラムを開催していきたいと思います。



リーダーの感想: みんなと一緒にお部屋を見に行きました。実際に内見してみて、お風呂とトイレが別になっているお部屋がいいなと思いました。また、将来ひとり暮らしをすることになったら、駅に近いところに住みたいと思いました。(金井 春奈)

私たちの動き (6/1~9/30)

() は担当部門名 CIL・HL・はたらこ

【イベント・行事の実施】

(CIL)

- ・出前講座(西砂小, 明治学院大学)
- ・協力員のためのプログラム(7/8, 9/4)
- ・おすすめスポット会議(7/19)
- ・視覚障害者交流会(7/20)
- ・協力員歓迎会(7/25)
- ・協力員スキルアップ研修(7/26)
- ・知的プログラム「みんなでお部屋を見にいこう」(8/3)
- ・ランチタイム(8/22)
- ・おすすめスポット取材(8/29, 9/13)
- ・U25プログラム「かき氷&すいかパーティー」(9/1)
- ・西日本豪雨被災障害者支援募金活動(9/13)
- ・ITプログラム「より生活を便利にするために」(9/20)

(はたらこ)

- ・茶話会(7/20)
- ・お楽しみ会(7/26, 9/27)

【連絡会・委員会・連携業務】

(CIL)

- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
地区別懇談会(6/5, 8/7, 9/27)
- ・市民活動センターたちかわ運営委員会(6/6)
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい
立川を考える会定例会(6/13, 7/8, 8/8)
- ・多摩療護園オンブズパーソン(6/18, 7/10, 26, 9/24)
- ・立川市災害ボランティアネットワーク
(6/19, 7/18, 8/23, 9/18)
- ・りらく定例会(6/20, 7/18, 8/15, 9/19)
- ・自立支援協議会地域移行専門部会(6/21)
- ・たちせいれん(7/5)
- ・地域生活拠点プロジェクト(7/22)
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(7/23)
- ・立川市障害者施策推進委員会(8/2)
- ・東京都相談支援従事者初任者研修検討会議(9/24)

(HL)

- ・立川市自立支援協議会相談支援専門部会
(6/4, 18, 8/27)
- ・立川市障害者週間実行委員会(6/28, 7/18, 9/19)
- ・立川市自立支援協議会全体会(7/5)

(はたらこ)

- ・立川市自立支援協議会運営会議(6/11, 9/10)
- ・多摩地域障害者就労支援事業連絡会(6/21, 8/23)
- ・立川市自立支援協議会就労部会(6/25, 7/24, 9/9)
- ・東京都障害者就労支援関係機関意見交換会(6/27)
- ・立川市自立支援協議会全体会(7/5)
- ・東京都障害者就労支援協議会(7/5)

【外部への見学・研修・イベント】

(CIL)

- ・JDFパラレルレポート完成報告会(6/4)
- ・柴崎町地区合同防災訓練(6/22)

- ・市民のための体験型防災講座(6/23, 7/6)
- ・しょうがいしゃをよりよくサポートするための
勉強会(6/24, 7/1, 8, 22, 29, 8/5)

- ・JIL全国セミナー(6/24, 25, 26)

- ・手をつなぐ親の会学習会(6/28)

- ・TIL学習会(6/28)

- ・考える会教育シンポジウム(7/28)

- ・東京都障害者IT地域支援センター研修(8/9)

- ・考える会若者シンポジウム(8/22)

- ・TIL労働法学習会(9/6)

- ・呼ネット10周年(9/14)

(HL)

- ・立川市障害者虐待防止センター学習会(7/24)

【外部からの見学・研修】

(HL)

- ・立川市国際中等教育学校「人間と社会」
プログラム(7/26)

【講師派遣】

(CIL)

- ・立川市災害ボランティアネットワーク立川国際中等
教育学校「人間と社会」プログラム(7/15)
- ・東京都相談支援従事者初任者研修(7/30, 31)
- ・立川市災害ボランティアネットワーク定例会(9/18)
- ・民生・児童委員研修(9/27)

(はたらこ)

- ・武蔵野市障害者就労支援ネットワーク会議(7/30)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- | | | |
|--------------|------------|---------|
| ・西村貴大 様 | ・柏倉康成 様 | ・清田 昌 様 |
| ・鴨池敏子 様 | ・圓山里子 様 | ・小林恵一 様 |
| ・澤田信子 様 | ・細金君代 様 | ・原 敏起 様 |
| ・堀田哲一郎 様 | ・山根三枝子 様 | ・林のり子 様 |
| ・西村三枝子 様 | ・我部啓子 様 | ・齋藤法雄 様 |
| ・黒田佳歩 様 | ・武田和実、美鈴 様 | |
| ・石射順子 様 | ・匿名 1名 | |
| ・株式会社三興製作所 様 | (順不同) | |

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL: 042-525-0879 FAX: 042-521-3134
URL: <http://www.sh.rim.or.jp/~cilt>
Mail: cilt@sh.rim.or.jp

